

フクシマの未来を考える

～大学生のうちに知っておくべきこと～

このイベントは、福島県を、復興支援する対象としてのみならず、日本社会が近い将来に直面する問題を全国に先立って対処しなければならない課題先進地として捉えて、「フクシマ」の窓を通して日本全体、さらには世界の抱える持続可能性の問題について考えます。

第 11 回となる今回は、今年度が最終年度となる福島県田村市で展開してきた福島イノベーション・コースト構想推進機構「大学等の『復興知』を活用した人材育成基盤構築事業」(以降、「復興知」事業)採択事業、獨協大学「外国語教育、環境教育を活用した『持続可能なまちづくり』創造事業」の学生スタッフが「復興知」事業の成果について報告します。パネルディスカッションでは、「復興知」事業が本学にもたらしたものを点検し、今後福島県とどのように連携を深めていくか、後継事業も視野に入れて議論したいと思います。

最後に、白石高司田村市長よりご講評をいただき、締め括ります。



【開会挨拶】「復興知」事業責任者 経済学部国際環境経済学科教授 米山昌幸

【報告】「復興知」事業学生スタッフ

広瀬結菜(環 3)、井原東吾(総 1)、鈴木悠世(英 3)、篠崎大地(英 3)、高松麗奈(英 3)、堀越そらみ(言 3)、福田わこ(交 1)、加藤帆夏(言 1)、赤水恒太(英 3)、塩田賢太郎(環 2)、齋藤香乃(環 4)、佐藤洵花(環 4)、塚本康介(関 2)、渡邊藍(環 1)、中尾妃音美(法 3)、有泉心結(交 2)

【パネルディスカッション】「『復興知』事業で私たちは何を学び、私たちは田村市に何を与えられたか」

【講評】(オンライン) 田村市長 白石高司(*ご都合により変更となる場合あり)

【閉会挨拶】環境共生研究所所長 浜本光紹

【司会】丸山彩希(環 1)

(敬称略)

【日時】12 月 2 日(火) 15:30～17:10

終了後、意見交換会がありますので、お時間のある方はご参加ください。

【場所】天野貞祐記念館大講堂 事前申込不要・どなたでも参加できます

【主催】国際環境経済学科・環境共生研究所

【運営】「フクシマの未来を考える」運営スタッフ